

舞鶴市廃棄物減量等推進審議会（第5期）第10回会議 摘録

【日時】令和2年9月11日（金） 午前10時～正午

【場所】市役所別館6階 大会議室

【出席委員】青山委員、内海委員、尾上委員、木谷委員、品田委員、谷口委員、  
西山委員、丸山委員、森委員、山川委員

【事務局】市民文化環境部長 藤崎、環境対策室長 福田、生活環境課長 大谷、  
リサイクル事務所長 上枝、清掃事務所長 田中

【傍聴者】7名

1. 開会
2. 議題

(1) ごみ処理手数料の見直しについて（報告）

事務局から、「舞鶴市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例」改正案（抜粋）について説明。（資料1）

→質問や意見等なし。

(2) 舞鶴市からの諮問にかかる答申（素案）について

事務局から「舞鶴市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の中間見直しについて（答申素案）」について説明。（資料2）

①基本理念について

【意見等】

（尾上委員）「ライフスタイルの変化」との繋がりが分かりにくい。少子高齢化以外の本市の特徴やライフスタイルの多様性が分かるように、もう少し具体的な内容を反映できないか。

（山川会長）基本方針2の中でもう少し具体的に記載する形で良いのではないか。

（青山副会長）8ページの基本理念の前段の部分の「市民一人ひとりがごみの適正処理と～」や9ページの「市民が等しくごみを処理し～」は別の表現の方がよい。市民が直接処理をするわけではないので、「適切な分別や排出」といった表現にしてはどうか。

（山川会長）「市民が等しく3Rに取り組む」というような表現もある。

（大谷課長）他にも同様の表現があるので、全体的に修正する。

（谷口委員）基本理念は盛り込み過ぎず、シンプルに1行でまとめた方が良いのではないか。入らない部分は基本方針に盛り込むか、サブテーマとして

まとめてはどうか。

- (丸山委員) 「住みやすい」という表現は漠然としているので、別の表現にできないか。「住みやすさ」というのは人によって感じ方が違うと思う。
- (山川会長) 基本方針2と関連させて「住み続けられる」と集約してもよい。
- (青山副会長) 「市民がごみの適切な処理に責任を持つ」という内容を明確に入れた方がよいのではないか。地域コミュニティの部分を残すなら、「市民」という表現は「地域のみんなで」としてもよい。
- (山川会長) 基本方針3で市民・事業者・行政の連携について触れているので、「市民」と限定した表現は入れにくいかもしれない。
- (西山委員) 基本理念案の下段はごみに限らず使えるフレーズであるため、ごみ処理基本計画の理念とするならば上段を残す方がよいのではないか。
- (山川会長) 下段はサブタイトルのような形で残す方法もある。  
「適正処理」と「3R」は順番を入れ替えた方が自然ではないか。
- (山川会長) 「地域のみんなで3Rと適正処理を推進 ～持続可能な誰もが住み続けられるまちを目指して～」というようなまとめはどうか。
- (谷口委員) 「適正処理」という言葉は、市民にはなじみがなくネガティブな印象を受けるのではないか。市民が引きつけられるような分かりやすい理念にするなら抜いてもよいのではないか。
- (青山副会長) 市民が理解するための施策も重要であることを考えると、「適正処理を理解する」というような表現で残すこともできる。
- (木谷委員) 「住み続けられる」という言葉はもう少しやわらかい表現の方がよいのではないか。排出弱者には、目標を達成できないのなら住み続けてはいけないという印象に受け取られかねないと感じる。
- (山川会長) そういう視点でみると「住みやすい」の方が良いかもしれない。
- (尾上委員) 「地域」という言葉は、地域の住民という旧来の小さい範囲のイメージが強い。「舞鶴の全ての人が」といった、市民・事業者・行政が一体となったイメージが伝わるような表現の方がよいのではないか。
- (山川会長) 一旦事務局と意見を整理し、改めて基本理念案を提示する。すべてを盛り込むと長くなるため、本日の審議内容を踏まえてある程度の取捨選択は行う。

なお、「SDGs」という言葉は10ページのイメージ図で整理し、理念には言葉として直接入れない形でよい。

→異議なし。

## ②基本方針1について

### 【意見等】

- (青山副会長) 「食品ロスの削減」に関する取り組みである小盛メニューやドギーバッグは、市民と事業者の取り組みだけでなく、市が事業者に協力を求めていく部分もあると思う。
- (山川会長) 行政の取り組みである「啓発」の対象に飲食店・小売店も盛り込む必要がある。
- (青山副会長) 「プラスチックごみの減量・資源化・適正処理」に関する協議の場の設置はどの程度の規模をイメージしているのか。
- (大谷課長) 事業者に対して個別に協力を求めたり、啓発を行ったりしていくイメージである。
- (青山副会長) これから市民の意識がどう変わるか、市民の意識にどう触れていくかが重要。レジ袋を始めとしたプラスチックごみ削減に向けて、スーパー等との協議の場の設置は、ぜひやってほしい。現場の声を聴き、実態把握を進めることが大切。
- (山川会長) レジ袋等の使用抑制の観点から言えば、「適正利用」や「適量利用」についても盛り込んでおきたい。
- (谷口委員) 行政の部分で、「リユース食器の利用」というのが事業者としての市の取り組みであれば一番下に記載して、行政としての取り組みを上に記載した方が分かりやすいのではないか。
- (山川会長) 行政としての施策であれば、順番は変えずにそれが分かるような文言へ修正が必要。
- (青山副会長) 「紙ごみの減量・資源化」については、行政が率先してペーパーレスに取り組むべき。例えば「議会はペーパーレスで行います」等の象徴的な宣言をしても良いかもしれない。ペーパーレスにはタブレットの配置等が必要で、市民参加型の会議は難しいかもしれないが、リモート会議の活用など、できる事から取り組んでほしい。
- (福田室長) コロナ禍の影響もあり、庁内外での会議のリモート化が進んでいる。部長以上の会議は原則ペーパーレスとなっている。WEB会議も増え、徐々にではあるが進みつつある。
- (青山副会長) 既に取り組んでいることがあるのなら、市民にもっとPRしていくべき。市役所が率先してやっていることを情報発信する事で、市民に対して刺激になる。
- (山川会長) 行政の部分は、市が事業者として取り組む部分と、行政施策として市が市民や事業者に協力を求める部分が分かるように表現や記載順を検討してほしい。
- (大谷課長) 他の項目も含めて全体的に修正する。

### ③基本方針 2 及び 3 について

#### 【意見等】

- (丸山委員) 「排出機会の確保」の部分で、「次回 5 年後の計画見直し」とあるが、5 年後まで見直しは行わないのか。
- (大谷課長) 全く手をつけないということではなく、必要に応じて検討する。数字が気になるようであれば「今後」という書き方に変更は可能。
- (森 委員) 「5 年後」という文言を残しておいた方が、そこまでにはやるというやる気を感じる。
- (丸山委員) 「5 年」という数字が気になるというよりも、極めて早く取り組んでほしいという思いがあるので、それが伝わるような文言にしてほしい。
- (山川会長) 5 年後という部分はそのまま残し、「早急に」というような文言でお願いしたい。
- (青山副会長) 立ち番については、現状の収集ではどこも任意化していないのか。
- (福田室長) 市としては従来の収集については立ち番をお願いしており、任意化はしていない。自治会内で相談し、独自にシルバー人材センター等に立ち番を依頼している自治会はある。
- (山川会長) 月 2 回の追加収集分の立ち番は任意として、既存の収集については状況に応じて今後検討していくという理解でいる。
- (品田副会長) 立ち番の任意化について、立て看板等の資材の配布も行わないという事であれば、自治会の管理ルールを具体化してしっかりと説明をしてほしい。
- (大谷課長) 個別の説明会についてはコロナ禍でどの程度できるかは不明だが、自治会代表者向けの説明会の開催を検討しているので、その中で丁寧に説明していきたい。

### ④目標値について

#### 【意見等】

- (尾上委員) 計画の目標値については、国の目標値より減量することを目標にするのか、それとも舞鶴市ができる限りの減量を目標にするのか、どこに目標を置くのかが明確になっておらず、基本理念とどうマッチしているのかが分からない。
- (山川会長) 実現不可能な目標を計画内で設定することはできないため、具体的な数値を掲げている国の目標をひとつの基準とし、そこに遅れないように市の目標値を定めていったので良いと思う。生活系ごみについては国の目標値を舞鶴市の目標とすると達成が少し厳しそうであるため、頑張ればできそうな数値に設定してあると思う。

(尾上委員) 舞鶴市は全国平均や京都府平均よりも多いから、最低限、国の平均値はクリアしようという認識でよいか。

(山川会長) ここで示されている数値はそういう意味合いである。

(青山副会長) 舞鶴市は京都市よりごみの分別ルールが厳しい印象があり、なぜ平均より多いのか不思議である。目標値に関していえば、国の目標値を参考にするのは一般的であり、もしこの先それが軽くクリアできたのなら、その時に更に見直しを図るという事で良いのではないか。

(尾上委員) 「3. ごみ処理の状況について」の中で、「国の目標値を目指していくべき」というような文言は盛り込まれているのか。

(山川会長) 市の目標値については、国の目標値を目指して市として減らしていけるところを減らしていくという考え方で良いと思う。

### (3) その他

事務局から次回の審議日程について説明。

→意見等なし。

了